

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587068901	科目番号 / Course code	05870689
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	a1思想からみた九州 / Kyushu's Perspective from History of Idea		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森 元斎		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	森 元斎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	森 元斎		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	motonaomori nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟12階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	近代以降の九州、とりわけ現在の国道3号線沿い周辺域で生じた出来事を、民衆の視線で取り上げ、近代化の流れへの抵抗や、近代的なものからの暴力がどのようになされてきたのかを論じ、民衆がどのようにして生きてきたのかを明らかにします。これに加えて、九州に住む現在の私たちの歴史を学ぶことも目的とします。		
授業到達目標/Course goals	近代以降の九州の民衆が、どのように近代化の時流に対応したのかを理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義期間中に提出する小課題(40%)と定期試験(60%)の合計		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】次回講義のキーワードを提示するので、キーワードに関する内容を各自、文献、Web等で調べておくこと。(2h) 【復習】講義資料を復習すると共に、講義時のレポート課題に関して、講義資料で紹介されたHPや文献で理解を深めること。(2h)		
キーワード/Keywords	国道3号線、米騒動、炭鉱、水俣、西南戦争、近代化		
教科書・教材・参考書/Materials	森元斎『国道3号線 抵抗の民衆史』共和国、2020		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	関連する書籍などを読むことが望ましいです。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考(URL) / Remarks (URL)	指定した教科書から課題を出しますので、手元にあることが望ましいです。		
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	ガイダンス：九州の近代化と国道3号線 九州と世界
2回	北部九州の近代化 アジアとのつながり
3回	門司港の米騒動 第一次世界大戦
4回	炭鉱の米騒動 軍部と民衆
5回	サークル村の磁場 上野英信
6回	サークル村の磁場 谷川雁
7回	サークル村の磁場 森崎和江
8回	福岡とアジア ドキュメンタリスト木村栄文(1)
9回	福岡とアジア ドキュメンタリスト木村栄文(2)
10回	戦争と詩 丸山豊
11回	山鹿コミュニケーション ルソーの思想とコミュニケーション
12回	宮崎滔天のアジア
13回	水俣病 医学者としての原田正純
14回	水俣病 世界文学としての石牟礼道子
15回	西南戦争と近代化
16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593004901	科目番号 / Course code	05930049
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	a1「文化」の境界と「伝統の創造」 / Boundaries of "Culture" and the "Invention of		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	姉川 雄大,		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	姉川 雄大		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	姉川 雄大,		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部・経済学部・薬学部・水産学部の2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	anegawa nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	anegawa nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	「文化の多様性」を考える際、私たちは、境界線で区切られた「文化」が複数存在し、それぞれに固有の「伝統」がある、と誤ってしまいがちです。よく多様性を特徴とする地域だと言われる東ヨーロッパ(特にハンガリー)の事例から、このこと自体を問いなおし、それを通じて「日本」についても考え直すヒントにします。		
授業到達目標/Course goals	受講する学生は、「〇〇語・〇〇文化・〇〇人・〇〇国」という組み合わせが、いつ、どのように当たり前のように考えられるようになったかを説明できるようになること、また、そのことを踏まえたと「日本」などの枠組みについてどのように考え直さなくてはならなくなるかを説明できるようになることを、目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末論述試験(80点) + 毎回の質問・コメント提出(20点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 予めレジュメを配布し、参考資料・配布資料の中で読んでくるべき箇所を示すので、それらに目を通したうえで講義にのぞむこと。(2h) 復習 テキストとレジュメを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は指定しない。参考書は、塩川伸明『民族とネイション』(岩波新書)、横井雅子『ハンガリー音楽の魅力』(東洋書店)『伝統芸能復興』(アーツアンドクラフツ)、伊東信宏『バルトーク』(中公新書)のほか、関連論文等を授業内で配布する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか （Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の導入及び主な検討対象地域（東欧）の紹介
第2回	授業の導入及び主な検討対象地域（東欧）の紹介
第3回	[ 歴史編 ] 中世東欧の民族・国民
第4回	[ 歴史編 ] 近世東欧の民族・国民
第5回	[ 歴史編 ] 近代的諸国民の誕生と文化
第6回	[ 歴史編 ] 共生できない多文化？
第7回	[ 歴史編 ] 多文化共生の実験
第8回	[ 歴史編 ] 国民化する国家の営み
第9回	[ 文化編 ] 「伝統的な風景」の創造
第10回	[ 文化編 ] 「伝統的な料理」の創造
第11回	[ 文化編 ] 「伝統音楽」の創造 ハンガリー風音楽
第12回	[ 文化編 ] 「伝統音楽」の創造 ジプシー音楽
第13回	[ 文化編 ] 「伝統音楽」の創造 西洋音楽
第14回	[ 文化編 ] 「伝統音楽」の創造 ハンガリー音楽
第15回	まとめ、伝統の創造について
第16回	定期試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587063901	科目番号 / Course code	05870639
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15691_005		
授業科目名 / Course title	a2文化人類学でみる世界と日本 / Anthropology for Cross-Cultural Understanding		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	細田 尚美 / Hosoda Naomi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水産 2年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hosoda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールでアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	グローバル化の時代、さまざまな国、文化、宗教の人たちとともに働き、暮らす方法を模 索しているのは日本だけではない。この授業では、多様な文化的背景を持つ人たちが共存する方法に ついて世界の事例を通じて学ぶ。文化人類学の概要と文化人類学的な視点やフィールドワークの実 践方法に親しむほか、日本で暮らす移民についても議論する。授業の一環としてグループワークや ゲストトークを取り入れる。		
授業到達目標/Course goals	(1) 文化人類学に関する基礎的知識を習得する。(2) 多文化が共存する社会の政策や現実につ いて具体的に述べる事ができる。(3) 他者や異文化について自分で調べ、発信できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加 (毎回の授業中の積極的な態度や課題への取り組み、コメントカードの内容) 60点、授業 中に行う小テストやグループ発表の成果20点、最終試験 (あるいは最終レポート) 20点の計100点で 評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: LACSにある資料を読み、自分の考えをまとめ、質問を準備すること。小テストや最終試験等 の準備。(2h) 復習: 分からなかった単語や事象を授業後に自分で調べるようにすること。(2h)		
キーワード/Keywords	エスノグラフィー (民族誌)、多文化共生、フィールドワーク		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書はない。毎回、予習のための教材を指示する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	1. グループワーク活動に積極的に参加できることが受講の条件です。よって毎回の出席が必須です。3. 授業中に演習を多く行いますので平日頃から異文化に接したり関心を持っていることも重要です。2. まわりの人たちの学習のさまたげにならないよう、私語や携帯電話、スマートフォンなどの使用はひかえてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1-2回	イントロダクション、文化とは何か
第3-4回	文化人類学とは
第5-6回	世界の家族の多様性
第7-8回	ホモ・モビリティ
第9-10回	人はなぜ移動するのか
第11-12回	ステレオタイプを乗り越えるには
第13-14回	エスノグラフィーの意義と実践(1)
第15回	エスノグラフィーの意義と実践(2)、まとめ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587064101	科目番号 / Course code	05870641
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15701_005		
授業科目名 / Course title	a2国際関係論 / Introduction to International Relations		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	NURGALIYEVA LYAILYA, 細田 尚美 / Hosoda Naomi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	NURGALIYEVA LYAILYA		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	NURGALIYEVA LYAILYA		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	lyailya.nurgaliyeva@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5F助教室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2938		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業後或いは事前にメールで連絡		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	複雑な国際関係を基礎的な概念と理論で把握し、現代の主要な国際問題(たとえば、平和、環境、難民、寛容など)を検討する。その背景にある歴史、文化、思想、経済の変化は国際関係の学際的な枠組みを作り上げる。安全保障、経済と社会のグローバル化、人権の擁護などを事例にして、国際関係の理解を目指す。		
授業到達目標/Course goals	この授業では、複雑な現代国際関係を理解することと国際関係に関する基本的な判断力を養うことを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況 = 15% 予習・復習への取り組み(課題提出) = 25% 最終レポート = 60% *期間中に行うディスカッションも評価の対象とする *ディスカッションに参加するためには講義への出席が最低条件となる		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: ディスカッションや最終試験等の準備。新聞やテレビなど、いきかうニュースを見ること。 事前資料がある場合は資料を読むこと。(2h) 復習: 分からなかった単語や事象を授業後に自分で調べるようにすること。(2h)		
キーワード/Keywords	平和と紛争、国際移民、国家、外交、グローバル化、人権、人間の安全保障、国家安全保障		
教科書・教材・参考書/Materials	プリントを配布する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	どなたでも受講可能です。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業中に行うディスカッションに積極的に参加することは非常に重要です。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：国際関係論とは
第2回	国際関係と歴史
第3回	国際関係の理論（リアリズム）
第4回	国際関係の理論（リベラリズム）
第5回	ゲーム理論
第6回	国際関係の理論（コンストラクティビズム）
第7回	環境問題-1
第8回	環境問題-2
第9回	貧困問題-1
第10回	貧困問題-2
第11回	国際連合-1
第12回	国際連合-2
第13回	国際紛争・国内紛争
第14回	紛争の解決
第15回	国際社会における日本の位置づけ



学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587038101	科目番号 / Course code	05870381
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12351_005		
授業科目名 / Course title	a3芸術 / Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加納 暁子 / Kanou Akiko, 金原 雅樹 / Kanahara Masaki, 宮崎 友理子 / Miyazaki Yuriko, 中川 泰 / Nakagawa Tooru, 菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	加納 暁子 / Kanou Akiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	加納 暁子 / Kanou Akiko, 金原 雅樹 / Kanahara Masaki, 宮崎 友理子 / Miyazaki Yuriko, 中川 泰 / Nakagawa Tooru, 菅野 弘之 / Kanno Hiroyuki		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33, [教育]音楽棟2F1番教室		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakagawa_nagasaki-u.ac.jp kankan_nagasaki-u.ac.jp k-akiko_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部美術技術棟2階 (中川・菅野) 教育学部音楽棟3階 (加納)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2351 (中川) 095-819-2352 (菅野) 095-819-2346 (加納)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで事前に問い合わせること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	美術における喜びや感動を感じる。 感じたことを表現する喜びを学ぶ。 音楽では美術との関連や、芸術表現と人間との関わりについて考える。		
授業到達目標/Course goals	美術及び音楽の魅力を説明できる。 自由な発想と多様な表現方法を獲得する。 自らを日常的な縛りから開放させることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	提出物 (作品やレポート等) 60%、受講の姿勢 (40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 予告される授業の内容について自主的に書籍、新聞、インターネット、新聞を見て調べること (2h) 事後学習: 授業で行ったことをまとめておくことと、それに関連する本や資料等を各自で読んでおくこと (2h)		
キーワード/Keywords	美術・工芸・音楽		
教科書・教材・参考書/Materials	授業内で指示する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	実技を含むので、定員は36名以内。対面授業が出来ない場合は、オンライン (リアルタイム・オンデマンド) で行います。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	授業に対して真面目に取り組むこと。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
工芸	工芸 今まで習ってきた美術・工芸について
工芸	工芸 身の周りの表現について
工芸	美術・工芸 どこに工夫があるか 探してみよう。（制作または鑑賞）
工芸	美術・工芸 どう表現しているか。 トライしてみよう。（制作または鑑賞）
音楽	音楽と美術の関連
音楽	音楽と美術の関連（又は演奏表現）
音楽	音楽と映像
音楽	音楽と映像（又は演奏表現）
美術	美術の魅力を探る（私が携わってきた仕事の経験）【金原先生】
美術	美術の魅力を探る（アートボランティア活動と体験談）【金原先生】
美術	美術館を探る（アートイベントやワークショップの企画とは）【宮崎先生】
美術	美術館を探る（クリエイティブな発想力を学ぼう）【宮崎先生】
美術	美術教育の意義と役割について
美術	岩井俊二の映像作品を鑑賞する
美術	まとめ（なぜ美術なのか、いかに美術なのか）

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587040901	科目番号 / Course code	05870409
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12561_005		
授業科目名 / Course title	a3美術 / Fine Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	針貝 綾 / Harikai Aya, 加納 暁子 / Kanou Akiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	針貝 綾 / Harikai Aya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	針貝 綾 / Harikai Aya		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	第1~6回担当: aharikai nagasaki-u.ac.jp 第7~15回担当: k_kanehara nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する場合は、 を@に換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部美術技術棟 針貝研究室 / 兼原研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	授業の前半では、彫刻を中心とする西洋美術史を、後半では木彫レリーフの制作による彫刻の実技を学びます。前半では、鑑賞を通して作品を見る眼を養うとともに、その歴史的な意義を学びます。後半では、造形感覚を磨くとともに、木彫によるレリーフ表現技法を養います。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術作品を観察し、文章あるいは口頭で客観的に記述することができる。</li> <li>・様式や表現技法、代表的な美術家、作品などについて説明できる。</li> <li>・木彫レリーフの特性を理解し、図案を構成することができる。</li> <li>・モチーフに応じて正しく印刀を使うことができるなど、木彫レリーフに関する表現技法と道具の使い方に関する知識と技術を身につける。</li> <li>・作品のポートフォリオを作成することができる。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	前半の成績評価方法: 授業内の記述と感想(25点)、小テスト(15点) 後半の成績評価方法: 授業への取り組みと意欲(10点)、振り返りと自己課題内容(10点) + 作品制作(30点)、ポートフォリオ課題(10点) ・前半と後半の点数を合算して、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	前半の事前学習: 次回の授業テーマについて調べ、予習を行う(2h) 前半の事後学習: 授業で取り上げた芸術家や作品を中心に、復習を行う(2h) 後半の事前・事後学習: 授業終了時に、本時の振り返りを行い、次回の課題内容を報告してもらいます。 次週までに自分の課題について解決策を考えてきてください。		
キーワード/Keywords	西洋美術史、彫刻実技、木彫、レリーフ		

教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じてプリントを配布します。 参考書については、授業内で紹介します。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	基礎知識は必要ありませんが、芸術や文化に関心があること。 また、美術や実技が好きであること。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先： （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	出席とやる気が、授業内容の理解や作品の善し悪しに関わってきます。休まずに出席しましょう。また、この機会に、美術館や博物館に出かけて作品を見たり、美術に関わる書籍を読むなど、美術に親しむ時間をぜひ作ってください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	古代ギリシャ美術：パルテノン神殿とその装飾	A
第2回	古代ギリシャ美術：幾何学様式～ヘレニズム様式	A
第3回	古代ローマ美術：記念碑と肖像彫刻	A
第4回	ルネサンス美術：ミケランジェロの彫刻作品<ピエタ>と<ダヴィデ>	A
第5回	ルネサンス美術：ミケランジェロのメディチ礼拝堂彫刻群	A
第6回	ミケランジェロの彫刻作品と小テスト	A
第7回	オリエンテーション：彫刻（木彫）の概要（表現内容と素材、その関係と見方について）	F
第8回	木彫レリーフ（バラ）の制作（準備と下書き）：印刀の使い方	A C D
第9回	木彫レリーフ（バラ）の制作（荒彫り）：輪郭線に切り込みを入れ、バックを彫る	A C D
第10回	木彫レリーフ（バラ）の制作（荒彫り）：2mmの深さまでバックを彫る	A C D
第11回	木彫レリーフ（バラ）の制作（荒彫り）：バックを滑らかにする	A C D
第12回	木彫レリーフ（バラ）の制作（仕上げ彫り）：葉の表現方法	A C D
第13回	木彫レリーフ（バラ）の制作（仕上げ彫り）：花の表現方法	A C D
第14回	木彫レリーフ（バラ）の制作（仕上げ彫り）：全体の調子を見て仕上げる	A C D
第15回	作品の講評及び評価、ポートフォリオの作成	A

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587037701	科目番号 / Course code	05870377
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12341_005		
授業科目名 / Course title	a4身のまわりの科学 / Science in Daily Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda, 星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	geosuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	隅田祥光 (教育学部棟413)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2373		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日 8時00分から8時30分		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	主体的にグループ活動ができる。		
授業到達目標/Course goals	主体的にグループ活動ができるようになる。 自分が調べた内容をプレゼンテーションすることができるようになる。 地域自治体にある様々な教育コンテンツを知ることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	グループ活動に取り組む姿勢 (50%)。 プレゼンテーションの出来栄 (50%)。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：長崎県内の博物館を調べる。 事後学習：プレゼンテーションの内容を振り返る。		
キーワード/Keywords	博物館, グループ学習, プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書/Materials	特になし		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり 得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配 慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい 学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	ガイダンス
2	グループ活動
3	グループ活動
4	グループ活動
5	グループ活動
6	グループ活動
7	グループ活動
8	グループ活動
9	プレゼンテーション
10	プレゼンテーション
11	プレゼンテーション
12	プレゼンテーション
13	プレゼンテーション
14	プレゼンテーションの振り返り
15	プレゼンテーションの振り返り

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587038501	科目番号 / Course code	05870385
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12361_005		
授業科目名 / Course title	a4環境と社会 / Environment and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部の学生でa4のテーマを選択した人		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hoshino nagasaki-u.ac.jp (星野) (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部4階 415研究室 (星野)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2332 (星野)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日以外の昼休み12:10-12:40 (星野)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	環境と社会がどのように関わっているかを環境基本法などで大まかに捉え、具体例として環境要因がどのように環境や人間等に影響を与えているのかを学習する。また、ドイツおよびネパール等諸外国の環境と社会との関わりを多角的に調べ、日本の環境と社会との関わりのあるべき姿を探る。長崎県の環境に関する課題も取り上げ、対策・施策について理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1. 現代社会の中で環境要因がどのように自然環境や生活環境および人間や動植物に影響を与えているかを調べることができる。 2. 自然環境や生活環境および人間や動植物に影響を与えている環境要因が何か。また、どのような影響を与えているかを説明することができる。 3. 影響を与えている環境要因に対して社会がどのように対処していけばよいのか。環境と社会との関わりのあるべき姿について根拠を示して自らの意見を述べるすることができる。 4. 長崎県の抱える環境に関する課題について例を挙げて説明することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	評価: 授業中の内容理解小テスト(4点×3回)、課題レポート(4点×3回)、小テスト作成課題(3点×10回)、プレゼンテーション課題と発表(10点)、授業への貢献度(質問、意見など、6点)、定期考査(30点)を行って評価(合計100点)する。合格基準は、到達目標に達した場合に60点になるようにし、これを合格基準とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	環境問題に関する新聞記事を日頃から気にかけて読んでおくこと。新聞は、図書館で閲覧できる。また、図書館のデータベースで記事検索もできるので、活用すること。 【予習】テーマについて学習事項とその内容を調べておくこと。担当班はパワーポイントのスライド作成を行っておくこと。(2h) 【復習】テーマについての学習事項に関する小テスト問題の作成を通じて復習しておくこと。(2h)		
キーワード/Keywords	環境基本法, 環境基準, ドイツの環境事情, ネパールの環境事情, 長崎県の環境課題		

教科書・教材・参考書/Materials	参考書1：谷村賢治・齋藤 寛編著「環境知を育む」税務経理協会 参考書2：及川 紀久雄・北野 大共著「人間・環境・安全 暮らしの安全科学」共立出版	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	定員を80名までとします。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948	
備考 (URL) /Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	他の班のプレゼンテーションにおいても、積極的に質問、意見を述べること。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	オリエンテーションとイントロダクション。授業内で内容理解確認テスト1（日本の公害・長崎の公害）を課す。受講者自らが興味を持つ、環境問題を挙げる課題（事項と内容）プリント1を課す。	A
第2回	環境法規（長崎県の環境基本計画を含む）とドイツの環境事情について、プレゼンを行う。授業内で内容理解確認テスト2を課す。ネパール国についての課題プリント2を課す。	A
第3回	ドイツ及びネパールの環境事情について、プレゼンを行う。授業内で授業内容に関わる内容理解確認テスト3を課す。また、講義で取り上げたネパールの環境事情の内容と改善方法の提案の課題プリント3を課す。	A
第4回	本授業で取り上げる10個の環境問題に関するテーマを選定する。テーマごとに班を編成する。班ごとのプレゼンテーションの発表日を決める。	B
第5回	テーマ1,たとえば「地球温暖化」について1班全員が一人ずつプレゼンを行う。1班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ1について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ1に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第6回	テーマ2,たとえば「生態系保護」について2班全員が一人ずつプレゼンを行う。2班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ2について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ2に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第7回	テーマ3,たとえば「大気汚染」について3班全員が一人ずつプレゼンを行う。3班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ3について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ3に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第8回	テーマ4,たとえば「水資源・水質汚濁」について4班全員が一人ずつプレゼンを行う。4班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ4について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ4に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第9回	テーマ5,たとえば「エネルギー問題」について5班全員が一人ずつプレゼンを行う。5班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ5について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ5に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第10回	テーマ6,たとえば「感染症と社会」について6班全員が一人ずつプレゼンを行う。6班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ6について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ6に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	B
第11回	テーマ7,たとえば「放射線と原子力発電」について7班全員が一人ずつプレゼンを行う。7班のプレゼン終了後、すべての班は、テーマ7について、小テスト問題（A4で1枚程度）を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお、テーマ7に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	A



第12回	テーマ8,たとえば「気候変動,地球温暖化」について8班全員が一人ずつプレゼンを行う。8班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ8について,小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ8に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	A B
第13回	テーマ9,たとえば「マイクロプラスチック」について9班全員が一人ずつプレゼンを行う。9班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ9について,小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ9に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	A B
第14回	テーマ10,たとえば「化学物質汚染」について10班全員が一人ずつプレゼンを行う。10班のプレゼン終了後,すべての班は,テーマ10について,小テスト問題(A4で1枚程度)を作成する。班ごとに作成した小テスト問題を提出する。なお,テーマ10に関して長崎県の場合も合わせて取り上げる。	A B
第15回	テーマ1~テーマ10までのテーマについて,各班で補足のプレゼンテーションを行い,質問,意見を受ける。	A B D
第16回	定期試験	A

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593000101	科目番号 / Course code	05930001
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	a5統計解析の初歩 / Introductory statistics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化・教育・薬学・水産		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shikimi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 (片淵キャンパス)・東南アジア研究所214		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日10:30-12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	初等的な統計的手法を説明する。		
授業到達目標/Course goals	社会・経済データを読み解く力を涵養することを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末試験80%、授業への主体的参加 (質問や議論) 20%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 前回までの講義内容を振り返ることにより現在位置を確認し、次回の講義内容がスムーズに理解できるように準備しておく (2h)。 復習: 講義内容を整理し理解を深める (2h)。		
キーワード/Keywords	統計分析		
教科書・教材・参考書/Materials	指定無し。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	"長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp"		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) /Instructor(s) with practical experience	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション
第2回	記述統計 中心を測る—平均値とメディアン
第3回	バラツキを測る—標準偏差とChebyshevの不等式
第4回	度数分布とヒストグラム
第5回	まっすぐな関係の程度を測る—散布図、相関係数
第6回	まっすぐな関係を推定する—回帰直線(1)
第7回	まっすぐな関係を推定する—回帰直線(2)
第8回	ローレンツ曲線とジニ係数
第9回	問題演習
第10回	確率論 二項分布(1)
第11回	二項分布(2)
第12回	ポアソン分布
第13回	正規分布(1)
第14回	正規分布(2)
第15回	問題演習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593000301	科目番号 / Course code	05930003
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	a5企業活動と戦略 / Corporate Activity and Strategy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高井 計吾, 式見 拓仙 / Shikimi Takuhisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高井 計吾		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高井 計吾		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2年(多・教・薬・水のみ)、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kegotak nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館525		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義後、または事前にメールでアポイントメントを取った日時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	グローバルな環境変化の中、企業は目的達成のために日々重要な意思決定を行っている。その意思決定の指針となる要素が戦略であり、戦略論を踏まえた深い洞察なしでは、企業の成長・発展は不可能である。本講義では、戦略論を幅広い観点から捉え、理論と実証の両視点から企業の行動を多面的に理解することを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	経済学部HPの「受講の手引き(学部)」にある「カリキュラム・マップ」を見てください。経営戦略論は次のDPを授業到達目標としています。DP-5: 各コースの到達目標を達成している。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	小テスト・小レポート(15点)+授業への取り組み(15点)+期末テスト(70点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習: 各講義の最後に次回講義で考えるべきポイントを提示するので、各自自分の考えをまとめた上で講義を受けてください。(2h) 復習: 講義内容の理解を深めるため、小レポート、小テストを課題として提示します。(2h)		
キーワード / Keywords	経営戦略、競争、多角化、ネットワーク		
教科書・教材・参考書 / Materials	参考書: [ISBN]9784492522035 『競争戦略論』(青島 矢一, 加藤 俊彦, 東洋経済新報社: 2012)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	「なぜ」「どのように」という「理屈」を突き詰めることは、経営学に限らずすべての学問分野に共通する大切な考え方です。その一方で、経営学の理屈では説明できない出来事も世の中にはたくさんあります。「理屈」と「世の中」のどちらか一方に留まることなく、2つの世界を自由に行き来できるような柔軟な視点を身につけてもらいたいと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 インTRODクシヨN
第2回	第2回 経営戦略の基礎
第3回	第3回 コスト・リーダーシッP戦略
第4回	第4回 差別化戦略
第5回	第5回 マーケティング戦略
第6回	第6回 戦略とイノベーション
第7回	第7回 戦略とイノベーション
第8回	第8回 事業の範囲
第9回	第9回 市場地位と戦略
第10回	第10回 市場地位と戦略
第11回	第11回 戦略とビジネスモデル
第12回	第12回 ベンチャー企業の経営戦略
第13回	第13回 企業提携と戦略
第14回	第14回 戦略と意思決定
第15回	第15回 これまでの講義まとめ
第16回	期末テストを実施します。

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593000501	科目番号 / Course code	05930005
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	a6経済学 / Economics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	島田 章 / Shimada Akira		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	対象学部: 多文化社会、教育、薬、水産		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	連絡先: shimada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階501		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了直後の20分程度		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	市場経済においても、政府は重要な役割をもっている。市場経済の機能と限界を概観し、市場経済において政府や中央銀行がどのような役割を果せるかをマクロ経済学的な視点から学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	市場の価格調整メカニズム、市場経済の機能と限界、市場経済における政府や中央銀行の役割を主体的に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	まとめ (試験またはレポートを含む) 100%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 教科書を読んでわからない用語の意味を調べてください。(2h) 事後学習: 授業でとったノート教科書を読みながら整理してください。また関連する統計も見てください。(2h)		
キーワード/Keywords	市場の価格調整メカニズム、政府の役割、中央銀行の役割		
教科書・教材・参考書/Materials	中谷武・中谷保 [編著] 『1からの経済学』発売元・中央経済社、2010年		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)	日本政府の統計 <a href="https://www.e-stat.go.jp/">https://www.e-stat.go.jp/</a>		

学生へのメッセージ/Message for students	連絡することがあれば、上記の担当教員メールアドレス宛にメールを送ってください。メールの件名に、令和4年度モジュール「a6経済学」受講者の誰々(氏名)、何学部(学部名)、何番(学生番号)で用件は何々(例えば質問)、などを書いてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション、経済学とわたしたち
第2回	需要と供給、価格メカニズム(1)
第3回	需要と供給、価格メカニズム(2)
第4回	市場の限界(1)
第5回	市場の限界(2)
第6回	市場の限界(3)
第7回	マクロ経済分析の基礎(1)
第8回	マクロ経済分析の基礎(2)
第9回	マクロ経済分析の基礎(3)
第10回	貨幣と金融、中央銀行の役割、金融政策(1)
第11回	貨幣と金融、中央銀行の役割、金融政策(2)
第12回	貨幣と金融、中央銀行の役割、金融政策(3)
第13回	政府の財政、政府の役割、財政政策(1)
第14回	政府の財政、政府の役割、財政政策(2)
第15回	政府の財政、政府の役割、財政政策(3)
第16回	まとめ(試験またはレポートを含む)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593000701	科目番号 / Course code	05930007
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	a6マーケティング論 / Marketing Theories		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 史早 / TAKAHASHI Fumisa, 島田 章 / Shimada Akira		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 史早 / TAKAHASHI Fumisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 史早 / TAKAHASHI Fumisa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahashi_f nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館5階504		
担当教員TEL/Tel	takahashi_f nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	片淵キャンパス常勤のため授業の前か終了後、もしくはE-mailにて適宜受け		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	マーケティングとは、顧客の潜在欲求を捉えながら製品の個別市場を創造していく企業活動です。本講義ではマーケティングの基本概念であるSTPとマーケティング・ミックスを中心に学びます。マーケティング・ミックスは、Product (製品), Price (価格), Place (流通・立地), Promotion (プロモーション)の4項目で構成されるマーケティングの基本活動です。本講義では、企業事例や演習、グループディスカッションを通じて、マーケティングに関する理解を深めま		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティング・ミックスについて適切に理解し、応用する力を身につける (DP1,2)</li> <li>・事例分析や演習を通して、各企業が抱えるマーケティング戦略の課題を把握することができる (DP4)</li> <li>・グループディスカッションを通じ、深く考え、自分の意見を相手に明確に伝えることができる (DP3)</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末レポート (60%), 講義への参画度 (40%)。講義への参画度の評価は、各回に提出するコメントシートへの記入内容を評価点とします。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 毎回の講義内容を事前にLACSで確認し、自分なりの考えを持つように努めて下さい (2h)。 事後学習: 講義で学んだことを自分なりにまとめ、自分が普段使っている製品の広告や販路、価格などについてよく観察してください (2h)。		
キーワード/Keywords	STP, マーケティング・ミックス, 顧客満足		



教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。  参考書： グローバルタスクフォース（2005）『コトラー教授 マーケティング・マネジメント入門 ・ 』 総合法令出版。 石井 淳蔵，廣田 章光（2009）『1からのマーケティング第3版』碩学舎
受講要件（履修条件）/Prerequisites	論理的に考えることを意識し、積極的な姿勢で受講してください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	参考となる書籍は適時アナウンスする。 オンラインでの実施の場合、内容変更の可能性あり。
学生へのメッセージ/Message for students	企業のマーケティング活動は消費者の行動と密接に関係しています。自身も消費者の一人であることを念頭に、講義で学んだ内容を日々の中で活用してください。また、グループ討論を通じて他者の視点に触れ、視野を広げてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	高橋史早 / 海外の政府関係者に対する研修経験を活かし、学生の視野を広げるとともに、それを身に付けるために自らが考え行動することを促す。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	ガイダンス
2	マーケティングの基本戦略 ・マーケティング的思考
3	マーケティング基本戦略 ・マーケティングプロセス
4	STP ・セグメンテーション
5	STP ・ターゲティング
6	STP ・ポジショニング
7	製品ライフサイクル
8	マーケティングミックス
9	マーケティングミックス ・製品
10	マーケティングミックス ・価格
11	マーケティングミックス ・プロモーション
12	マーケティングミックス ・プロモーション
13	マーケティングミックス ・チャネル
14	マーケティング戦略事例
15	授業の総括

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593000901	科目番号 / Course code	05930009
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	a7社会保障と医療保障制度 / Social Security and Health Care Systems		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi, 有馬 和彦 / Arima Kazuhiko, 水上 諭		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi, 有馬 和彦 / Arima Kazuhiko, 水上 諭		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2(多・教・経・薬・水), 3, 4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	青柳 潔 <kiyoshi nagasaki-u.ac.jp> 有馬 和彦 <arima nagasaki-u.ac.jp> 水上 諭 <s.mizukami nagasaki-u.ac.jp>		
担当教員研究室/Office	医学部・公衆衛生学分野		
担当教員TEL/Tel	095 - 819 - 7067		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月・火・水の12:00-13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	すべての国民は「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を有するが、個人の努力(自助)のみでは対応できないリスクも多い。国民が相互に連帯して支え合い、また国が必要な扶助を行うことにより、国民の生存権を保障するのが社会保障の概念である。医療保障とは、国民が傷病の際に、必要な医療を効果的に受けられることを保障する制度である。		
授業到達目標/Course goals	社会保障、医療保障制度を理解し、国民の公衆衛生の向上に貢献できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション等の課題の評価は、与えられたテーマについて調査し、適切なキーワードを用い説明できているかを判断基準とする。レポート等は提出期限内に提出されていることが必要である。 内容理解確認小テスト(5点*7回=35点)+プレゼンテーション課題(15点)+授業への取り組み(15点)+最終試験(35点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: テキストブック、事前配布したハンドアウト、関連内容について自身で収集した資料等で予習する。事前に関係領域の予備知識を取得しておくことが必要である。インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト(公的機関のサイトが望ましい)を利用すること。(2h) 事後学習: 学習した内容の要点をまとめる。また、理解できなかった箇所は、テキストブック等を使って明らかにするとともに、講師・教員に質問し必ず解決すること。レポート等課題があれば、速やかに対応すること。インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト(公的機関のサイトが望ましい)を利用すること。(2h)		
キーワード/Keywords	所得保障、社会福祉、医療保障、公衆衛生		
教科書・教材・参考書/Materials	厚生労働省HP( <a href="https://www.mhlw.go.jp/index.html">https://www.mhlw.go.jp/index.html</a> )、ハンドアウト		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 - アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 - 2回 (4月8日)	社会保障の概念、社会保険、所得保障(年金・生活保護)、社会福祉
3 - 4回 (4月15日)	グループワーク
5 - 6回 (4月22日)	グループワーク
7 - 8回 (5月13日)	プレゼンテーション、国民医療費
9 - 10回 (5月20日)	医療保険、公費医療
11 - 12回 (5月27日)	グループワーク
13 - 14回 (6月3日)	グループワーク
15 - 16回 (6月10日)	プレゼンテーション、試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593001101	科目番号 / Course code	05930011
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	a7健康増進 / Health Promotion		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi, 有馬 和彦 / Arima Kazuhiko, 水上 諭		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	青柳 潔 / Aoyagi Kiyoshi, 有馬 和彦 / Arima Kazuhiko, 水上 諭		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2(多・教・経・薬・水), 3, 4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	青柳 潔 <kiyoshi nagasaki-u.ac.jp> 有馬 和彦 <arima nagasaki-u.ac.jp> 水上 諭 <s.mizukami nagasaki-u.ac.jp>		
担当教員研究室/Office	医学部・公衆衛生学分野		
担当教員TEL/Tel	095 - 819 - 7067		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月・火・水の12:00-13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>健康増進は、疾病の予防のみならず、健康状態を向上するための行動を含んだ積極的な概念です。健康寿命の延伸とQOLの向上を目指します。健康づくりや疾病予防を進めるために、健康増進法が制定されています。</p> <p>健康日本21は、21世紀における国民健康づくり運動です。すべての国民がともに支え合い、健やかで心豊かに生活できる社会を目指します。</p> <p>生活習慣病は食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が、その発症・進展に関与する疾患群と定義されます。生活習慣は改善可能な因子として生活習慣病の予防に重要です。特定健康診査・特定保健指導では、血糖・脂質・血圧などに関する健康診査の結果から、生活習慣の改善が必要な者を抽出し、保健指導を実施することにより、生活習慣病を予防することを目的としています。</p> <p>がんはわが国の死因の1位であることから、重要課題として対策が進められています。今後実際の健康問題にどのように対応していくのかについてグループワークやディスカッションを通して、自分達なりの答えを考え出していくことを目指します。</p>		
授業到達目標/Course goals	健康増進法、健康日本21、肝炎対策、生活習慣病対策、特定健康診査・特定保健指導、がん対策を理解し、国民の公衆衛生の向上に貢献できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション等の課題の評価は、与えられたテーマについて調査し、適切なキーワードを用い説明できているかを判断基準とする。レポート等は提出期限内に提出されていることが必要である。 内容理解確認小テスト(5点*7回=35点)+プレゼンテーション課題(15点)+授業への取り組み(15点)+最終試験(35点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：テキストブック、事前配布したハンドアウト、関連内容について自身で収集した資料等で予習する。事前に関係領域の予備知識を取得しておくことが必要である。インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト（公的機関のサイトが望ましい）を利用すること。（2h） 事後学習：学習した内容の要点をまとめる。また、理解できなかった箇所は、テキストブック等を使って明らかにするとともに、講師・教員に質問し必ず解決すること。レポート等課題があれば、速やかに対応すること。インターネットで情報収集する際は、信頼できるサイト（公的機関のサイトが望ましい）を利用すること。（2h）
キーワード/Keywords	健康増進法、健康日本21、肝炎対策、生活習慣病対策、特定健康診査・特定保健指導、がん対策
教科書・教材・参考書/Materials	厚生労働省HP( <a href="https://www.mhlw.go.jp/index.html">https://www.mhlw.go.jp/index.html</a> )、ハンドアウト
受講要件（履修条件）/Prerequisites	なし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 . - アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1-2回（6 / 17）	健康増進法、健康日本21、肝炎対策
3 - 4回（6 / 24）	グループワーク
5 - 6回（7 / 1）	グループワーク
7 - 8回（7 / 8）	プレゼンテーション、生活習慣病対策
9 - 10回（7 / 15）	特定健康診査・特定保健指導、がん対策
11 - 12回（7 / 22）	グループワーク
13 - 14回（7 / 29）	グループワーク
15 - 16回（8 / 5）	プレゼンテーション、試験

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593001301	科目番号 / Course code	05930013
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	a8個体と社会生命を哲学する / Philosophy of Individual and Social Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池松 和哉 / Ikematu Kazuya, 梅原 敬弘 / Umehara Takahiro, 村瀬 壮彦, 井上 信一		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	池松 和哉 / Ikematu Kazuya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	池松 和哉 / Ikematu Kazuya, 梅原 敬弘 / Umehara Takahiro, 村瀬 壮彦		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-ikema nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部基礎研究棟6階法医学教室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7076		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日16:00~18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	人間はいつか死を迎えるが、その最期は様々である。現代社会においてヒトの死は、自然死や病死をはじめ、交通事故や他殺、薬物中毒、虐待、ストレス社会における過労死、あるいは隣家との接触の希薄化などによる都市部での孤独死、また自らの命を絶つ自殺など多様化している。本講義では、死、死に至る過程、様々な死について医学的側面から各講師が講義し、社会的側面から個人が貢献できることを考えるための素材を提供する。「社会からの逸脱」であるヒトの死について学ぶことで、「生命と社会」という普遍的な命題について哲学する。		
授業到達目標/Course goals	1. 社会的側面から解剖の意義について説明できる。 2. ヒトの様々な死、そしてその意義を説明できる。 3. 生命と社会における個人の役割について考えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	討論への貢献度、課題レポート: 40% 終了時提出のポートフォリオ、レポート: 60%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎週の課題に対する回答を作成し、発表できる様にする(学習時間2時間程度)。 毎週の最終課題に対するレポート作成を行う(学習時間2時間程度)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	学生のための法医学(南山堂)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	全ての授業に出席できること。講義内容の復習、それに伴う情報収集、そして発表ができること。 グループ活動に積極的に参画できること。適切なモジュール科目に合格していること		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	人は誰も精神的に健康な状態の時は、前向きに社会と関係を持つことができますが、そうでない時は社会との関係が希薄になり、つながりを断ち切りたいと思うようになります。そこで、医学的（法医学的）観点からヒトの死について学ぶことで、「生命」についての自分なりの価値観を確立し、社会における個人としての役割等について考えていきましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	社会的側面から解剖の意義について考える。
第2回	社会的側面から解剖の意義について考える。
第3回	自殺について考える。
第4回	自殺について考える。
第5回	アルコールについて考える。
第6回	アルコールについて考える。
第7回	薬毒物について考える。
第8回	薬毒物について考える。
第9回	虐待について考える。
第10回	虐待について考える。
第11回	安楽死について考える。
第12回	安楽死について考える。
第13回	臓器の移植について考える。
第14回	臓器の移植について考える。
第15回	総括。

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593001501	科目番号 / Course code	05930015
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	a8環境による肺や腎臓への影響 / Environmental Effects on Lungs and Kidneys		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	迎 寛 / Mukae Hiroshi, 西野 友哉 / Nishino Tomoya, 山本 和子 / Yamamoto Kazuko, 牟田 久 美子 / Io Kumiko, 尾長谷 靖 / Obase Yasushi, 井上 信一, 城戸 貴志, 竹本 真之輔		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	迎 寛 / Mukae Hiroshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	迎 寛 / Mukae Hiroshi, 西野 友哉 / Nishino Tomoya, 山本 和子 / Yamamoto Kazuko, 牟田 久 美子 / Io Kumiko, 尾長谷 靖 / Obase Yasushi, 井上 信一, 城戸 貴志, 竹本 真之輔		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmukae nagasaki-u.ac.jp(メールを送信する際は、 を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	長崎大学病院呼吸器内科、腎臓内科		
担当教員TEL/Tel	095-819-7273		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜 午前 9時~11時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	我々が生活するうえで環境による人体への影響は不可避です。特に肺や腎臓はそれらの影響を受け やすい臓器でもあります。長崎での取り組みを含め学修していきましょう。		
授業到達目標/Course goals	長崎大学は、4年間あるいは6年間の教育プログラムに定められた単位を修得し、自ら学び、考え 、主張し、行動することができる。 分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている。 専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている。 地球環境と社会の多様性を理解している。 主体性をもって他者と協働できる。 地域社会および将来世代に貢献するグローバルな視点を身につけている。 と認められた者に対し、学位(学士)を授与します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	第3~14までは2コマごとに(第4, 6, 8, 10, 12, 14)それぞれ評価(レポートまたはプレゼンテ ーション)5点満点x6(30点満点)、それ以外の、1, 2, 3, 5, 7, 9, 11, 13, 15, 16は出席時 の授業参加度として3点/回を与える。第16回目の定期試験を40点満点で評価し、総合点が60点以上 を合格とする。 合理的配慮の必要な案件があれば、その根拠をもって相談してください。必要な合理的配慮には合 理的配慮を行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		



事前、事後学習の内容/Preparation & Review	第3回～第14回は講義スライドをLACSにアップロードするので、事前学習をお願いします。(約90分) 第1回は導入講義 第2回はプレテストなので準備は不要です 第15回はそれまでのまとめ、第16回を定期試験とします。	
キーワード/Keywords	環境、呼吸器、腎臓、長崎の取り組み	
教科書・教材・参考書/Materials	教科書、教材の指定はない。適宜資料をLACSにアップロードする	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	なし	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考(URL)/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	迎 寛、尾長谷靖、坂本憲穂、山本和子、竹本真之輔/上記5名については呼吸器内科において医師としての実務経験を有している。/当該科での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。 牟田 久美子/腎臓内科において医師としての実務経験を有している。/当該科での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
1. 2022/6/16	導入：環境と肺障害(長崎県の課題を通して学修)	F
2. 2022/6/16	2 第2回 プレテスト	F
3. 2022/6/23	3 第3回 被爆県長崎で学ばべきタバコの健康問題?COPDを中心に?(長崎県の取り組みを通して学修)	F
4. 2022/6/23	4 タバコの問題に関するプレゼンテーション	A D
5. 2022/6/30	5 第5回 職業と肺疾患(塵肺を念頭に)	F
6. 2022/6/30	6 第6回 生活環境と肺疾患(過敏性肺炎を念頭に) レポート提出	A
7. 2022/7/7	7 第7回 環境と感染症 講義(長崎県の取り組みを通して学修)	F
8. 2022/7/7	8 第8回 環境と感染症 学生プレゼンテーション	A B D
9. 2022/7/14	9 第9回 PM2.5と健康(長崎県の取り組みを通して学修)	F
10. 2022/7/14	10 第10回 PM2.5と健康 学生プレゼンテーション	A
11. 2022/7/21	11 第11回 生活習慣と腎臓病	F
12. 2022/7/21	12 第12回 腎不全の治療法(透析、移植)	A B D
13. 2022/7/28	13 第13回 身近にある発がん性物質	F
14. 2022/7/28	14 第14回 肺がんの早期発見と治療 レポート提出	A
15. 2022/8/4	15 第15回 まとめ	A B
16. 2022/8/4	16 第16回 定期試験	A

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587008101	科目番号 / Course code	05870081
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11911_005		
授業科目名 / Course title	a9伝承薬から最先端医薬品まで(薬はこうして創られる) / From Folk Medicines to Advanced Medicines		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	尾野村 治 / Osamu Onomura, 石原 淳 / Ishihara Jun, 栗山 正巳 / Kuriyama Masami		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	尾野村 治 / Osamu Onomura		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	尾野村 治 / Osamu Onomura, 栗山 正巳 / Kuriyama Masami		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	尾野村: onomura nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 栗山: mkuriyam nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	薬学部 医薬品合成化学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2429		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月-金 15:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	我々の身の回りにある医薬品は化学物質で構成されている。化学物質は原子から出来ており、医薬品の作用機構など生命現象の多くは化学の言葉で語ることが可能である。高校の受験科目としての化学ではなく、生きた化学を理解し、医薬品の化学を通して化学を面白く感じるようになることが授業の狙いである。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ内での役割(司会、書記、発表、質疑)を積極的に担い、他者と協働して1つの発表資料を作成し、他者に分かり易く伝えることができる( )。</li> <li>・人類の病気との戦いの歴史を医薬品創製の歴史に結びつけ、説明できる( )。</li> <li>・経験的に見出された伝承薬、天然物から発見された医薬品、そしてコンピューターによってデザインされた医薬品など、様々な医薬品はどのようにして合成し供給されるのか概説できる( )。</li> <li>・幾つかの医薬品を例にとり、化学が医薬品開発に果たしてきた役割を概説できる( )。</li> <li>・医薬品が世の中に出るまでを理解できる( )。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	積極的授業参加態度(40%)、グループプレゼンテーションの発表内容および報告レポート(60%)、合計60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	(事前学習)グループ内調査に向けて、下調べしておくこと。プレゼン練習もしておくこと(2h)。 (事後学習)グループ内発表やプレゼンテーションに備え、プレゼン資料をまとめておくこと。また、他者や他グループの発表内容の理解にも努めること(2h)。		
キーワード/Keywords	医薬品、化学合成、天然物		
教科書・教材・参考書/Materials	授業中に適宜指定する。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	作製した内容については、ポートフォリオにアップしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	尾野村 治/企業において創薬研究の実務経験/医薬品の創製に従事した経験をもとに、創薬研究者としての実践的能力に必要な基本的知識を養う。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	テーマの提示とグループ分け (1)
第2回	グループ内での調査 (1)
第3回	グループ内での調査 (2)
第4回	進捗状況の報告と意見交換 (1)
第5回	中間プレゼンテーション (1)
第6回	グループ内での調査 (3)
第7回	進捗状況の報告と意見交換 (2)
第8回	グループプレゼンテーション、全体討論 (1)
第9回	テーマの提示とグループ分け (2)
第10回	グループ内での調査 (4)
第11回	進捗状況の報告と意見交換 (3)
第12回	中間プレゼンテーション (2)
第13回	グループ内での調査 (5)
第14回	進捗状況の報告と意見交換 (4)
第15回	グループプレゼンテーション、全体討論 (2)
第16回	報告レポート提出、総括

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587056701	科目番号 / Course code	05870567
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15511_005		
授業科目名 / Course title	a9高齢化社会と地域医療・薬とのかかわり / Aging Society and Its Association of Community - Based Medical Care and Medicine		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鳥羽 陽 / Toriba Akira, 石原 淳 / Ishihara Jun, 吉田 さくら / Yoshida Sakura, 向井 英史 / Mukai Hidefumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鳥羽 陽 / Toriba Akira		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鳥羽 陽 / Toriba Akira, 吉田 さくら / Yoshida Sakura, 向井 英史 / Mukai Hidefumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toriba nagasaki-u.ac.jp (鳥羽)、hmukai nagasaki-u.ac.jp (向井)、yoshida-s nagasaki- u.ac.jp (吉田) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	「薬学部研究棟5階 衛生化学研究室」「医歯薬学総合研究棟7階 医薬品情報学研究室」		
担当教員TEL/Tel	095-819-2441 (鳥羽)、095-819-8564 (向井)、095-819-2443 (吉田)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00-13:00 事前にE-mailで予約すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎県は高齢化社会の先進地区であり、高齢化が進む日本の将来の医療を考える上で重要なモデル である。出島に近代西洋科学が導入されたくすりの歴史から、現在における高齢化社会の典型的な 疾病とくすりの使われ方まで、医療経済を交えながら学び、長崎県を起点として高齢化社会におけ るくすりの付き合い方について議論していく。後半の授業では、高齢化社会の進展に伴い急増する 認知症に焦点を絞り、生命科学の視点からだけでなく、多様な視点から認知症に対する理解を深 める。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化社会への対応という現代的課題について自ら探究した上で、課題の解決に向けた提案がで きる( )</li> <li>・高齢化社会における医療の変化について調査するだけでなく、その結果に対する自分の考えをま とめることができる( )。</li> <li>・高齢化社会におけるくすりの使い方などを調査し、それぞれの結果について意見を述べあうこと によって理解を深めることができる( )。</li> <li>・高齢化社会への対応について調査した結果と見解を、他者にわかりやすく、伝えることができ ( )</li> <li>・認知症に関して、多方面からの情報を収集することができる( )。</li> <li>・長崎県の高齢者化社会での問題点を整理し、課題を発表できる( )。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	積極的授業参加態度(10%)、レポート(60%)、調査活動の成果と発表(30%)  積極的授業参加態度は、LACS上のオンラインテストにて評価する。 レポート、調査活動の成果と発表は、全学モジュール科目の到達度評価用ルーブリック案を用いて 評価する。 <a href="http://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/teacher/activeLearning2.html">http://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/teacher/activeLearning2.html</a>		

各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前にLACS等で提示する資料に目を通し予習をしておく（2時間）。また、事後には授業で与えられた課題をプレゼンテーション資料やレポートとしてまとめる（2時間）。
キーワード/Keywords	くすり、高齢者、医療、医療経済、長崎県
教科書・教材・参考書/Materials	特になし・必要に応じて資料を配付する
受講要件（履修条件）/Prerequisites	調査等のため授業学習時間は不可欠で、授業時間だけでは、十分な学習を行うことは困難です。LACSや、個人のPCを活用した自主的な時間外学習は、週平均2時間以上は必要です。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	高齢者の問題・課題は、介護問題だけでなく社会に関わる多くの要因が絡んでいます。自分が目指す分野における関係性について考えてみてください。また、グループディスカッションとプレゼンテーションは、皆さんの総合力を磨く絶好のチャンスです。どんなことでもいいので、積極的に発言する姿勢で臨んでください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	向井英史 / 博士研究員・研究室主宰者として国立研究開発法人理化学研究所にてドラッグデリバリーシステムや分子イメージング科学分野の基礎研究を行なう実務経験 / 創薬や医療技術などの高度化による薬と社会のかかわりの変化を通して医療リテラシーを養う
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
4月14日（木）4校時 向井	第1回：“くすりの過去 出島の科学”に関するLACS上のオンライン教材を用いた自己学習およびLACS上のオンラインテスト
4月14日（木）5校時 向井	第2回：第1回の学習項目を基にした研究テーマ候補4題の決定、資料を用いた予備調査によるさらに深く調査する研究テーマ1題の選定
4月21日（木）4校時 向井	第3回：第2回で選定した研究テーマに関するさらなる調査、総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の作成
4月21日（木）5校時 向井	第4回：総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の完成（LACS上で提出）
4月28日（木）4校時 向井	第5回：“高齢化社会における医療経済と長崎県”に関するLACS上のオンライン教材を用いた自己学習およびLACS上のオンラインテスト、講義資料におけるキーワードを基にした研究テーマの選定
4月28日（木）5校時 向井	第6回：第5回で選定した研究テーマに関する詳細な調査
5月12日（木）4校時 向井	第7回：研究テーマに関するさらなる調査、総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の作成
5月12日（木）5校時 向井	第8回：総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の完成（LACS上で提出）
5月19日（木）4校時 鳥羽、吉田	第9回：“高齢化社会における認知症の現状”に関するLACS上のオンライン教材を用いた自己学習およびLACS上のオンラインテスト、課題に対するアンケート
5月19日（木）5校時 鳥羽、吉田	第10回：認知症に関する情報収集(Web)と研究テーマの提案
5月26日（木）4校時 鳥羽、吉田	第11回：関連のある研究テーマに関する予備調査および研究テーマ・研究目的の決定
5月26日（木）5校時 鳥羽、吉田	第12回：第11回で選定した研究テーマに関する詳細な調査
6月2日（木）4校時 鳥羽、吉田	第13回：研究テーマに関するさらなる詳細な調査、プレゼンファイルと発表原稿の作成開始
6月2日（木）5校時 鳥羽、吉田	第14回：研究テーマに関するさらなる詳細な調査、総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の作成、さらに不足するデータの収集
6月9日（木）4校時 鳥羽、吉田	第15回：研究テーマに関する詳細な調査、総合レポートおよびプレゼンファイルと発表原稿の完成（LACS上で提出）

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587008501	科目番号 / Course code	05870085
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11921_005		
授業科目名 / Course title	a10薬との賢い付き合い方 / How to Wisely Get Along with Medicines		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	金子 雅幸 / Kaneko Masayuki, 塚原 完 / Tsukahara Tamotsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	金子 雅幸 / Kaneko Masayuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	金子 雅幸 / Kaneko Masayuki, 塚原 完 / Tsukahara Tamotsu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化社会学部・教育学部・経済学部・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	m-kaneko nagasaki-u.ac.jp (金子) / ttamotsu nagasaki-u.ac.jp (塚原) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス・薬学部本館4階・創薬薬理学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2421 (金子) / 095-819-2473 (塚原)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金 (9:00～17:00) 事前にメールでアポイントメントを取ること。(金子) / メールにて受け付けます。(塚原)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	薬の効くしくみや体内での動きを理解すること、また、医薬品の影の部分(有害作用)を知ることは薬と賢くつきあうために重要である。本講義では生体の機能を知り、生命現象の理解を深めるための講義を行う。講義をもとに、薬の市場規模、種類、作用機序、副作用などについて各自調査したことを発表する。		
授業到達目標/Course goals	1. 能動的な学修ができるようになる。 2. 情報を集め、議論してまとめることができるようになる。 (全学DP: DP-1、DP-5、DP-6)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート課題(20%)、プレゼンテーション課題(60%)、授業への積極的な取り組み(20%) 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前実習: シラバスに従い、関連する内容についてあらかじめ調べてくる。発表内容を調査し、発表の準備をする。(2時間) 事後学習: 講義の内容についてレポートにまとめ、疑問などについて次回の講義までに明らかにする。(2時間)		
キーワード/Keywords	薬理作用、体内動態、副作用、がん、生活習慣病、麻薬、向精神薬		
教科書・教材・参考書/Materials	関連ニュースや新聞記事などに目を通しておくこと。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	6回以上の欠席は失格とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	<a href="http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/lab/soyakuri/index-j.html">http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/lab/soyakuri/index-j.html</a>	
学生へのメッセージ/Message for students	薬を賢く使用するためには科学に立脚した基礎知識をしっかりと身につける必要があります。ぜひとも薬に興味を持って授業に臨み、自分なりの発見をする場として、有効に活用してもらいたいと思います。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N（金子）/Y（塚原）	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	米国大学における実務経験。医薬品の開発研究、特に探索研究における講義。（塚原）	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回（4/ 8：4講目）	薬の主作用と副作用について講義する。	F
第2回（4/ 8：5講目）	薬の生体内運命について講義する。	F
第3回（4/15：4講目）	薬のメリット・デメリットについて調べ発表する。	A B D
第4回（4/15：5講目）	消化器系の病気に使用される薬について講義する。	F
第5回（4/22：4講目）	消化器系の病気に使用される薬の市場規模、種類、作用機序、副作用などについて調べ発表する。	A B D
第6回（4/22：5講目）	循環器系の病気に使用される薬について講義する。	F
第7回（5/13：4講目）	循環器系の病気に使用される薬の市場規模、種類、作用機序、副作用などについて調べ発表する。	A B D
第8回（5/13：5講目）	内分泌系の病気に使用される薬について講義する。	F
第9回（5/20：4講目）	内分泌系の病気に使用される薬の市場規模、種類、作用機序、副作用などについて調べ発表する。	A B D
第10回（5/20：5講目）	神経系の病気に使用される薬について講義する。	F
第11回（5/27：4講目）	神経系の病気に使用される薬の市場規模、種類、作用機序、副作用などについて調べ発表する。	A B D
第12回（5/27：5講目）	感染症に使用される薬について講義する。	F
第13回（6/ 3：4講目）	感染症に使用される薬の市場規模、種類、作用機序、副作用などについて調べ発表する。	A B D
第14回（6/ 3：5講目）	抗がん薬について講義する。	F
第15回（6/10：4講目）	抗がん薬の市場規模、種類、作用機序、副作用などについて調べ発表する。	A B D

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587009301	科目番号 / Course code	05870093
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11941_005		
授業科目名 / Course title	a10疾病と薬物治療 / Diseases and Drug Therapy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro, 金子 雅幸 / Kaneko Masayuki, 平山 達朗 / Hirayama Tatsuro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	塚元 和弘 / Tsukamoto Kazuhiro, 平山 達朗 / Hirayama Tatsuro		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ktsuka nagasaki-u.ac.jp (塚元); tatsuro_h_20 nagasaki-u.ac.jp (平山) *メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください		
担当教員研究室/Office	医歯薬学総合教育研究棟 (歯学部本館) 7階 薬物治療学		
担当教員TEL/Tel	095-819-8573 (塚元); 095-819-8574 (平山)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日9:00-17:00 *事前に電話もしくはメールでアポイントメントを取ること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	授業の位置付け: 自律神経失調, 高血圧, がん, 感染症および喫煙関連疾患について, 疾患や病態 の概念と治療法 (薬物療法を含む) について学ぶ。さらに, 日常生活習慣との関連とその改善法 について考える。 授業方法: まず, 思考法 (KJ法) を学んで実践する。次に日常生活習慣と関連づけながらそれぞれ の疾患や病態の概念と治療法を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自律神経失調, 高血圧, がん, 感染症および喫煙関連疾患について概要を理解できる。</li> <li>・興味のある課題を自分でみつけることができる。</li> <li>・必要な情報を適切に収集して分析することができる。</li> <li>・自分の意見を積極的に表現することができる。</li> <li>・思考法について理解し実践することができる。</li> <li>・他者との意見交換を建設的に行うことができる。</li> <li>・他人の価値観を寛容できる。</li> </ul>		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲 しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	グループ内での参加・発言度30点, 発表・プレゼン35点(1回5点で7回発表), レポート35点(1回5点 で7回レポート提出)の計100満点中60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	学習する内容の予習, 学習した内容の復習, そして発表内容をレポートにまとめて書くために, 週4 時間以上必要とする。		
キーワード/Keywords	KJ法, 自律神経, 高血圧, がん, 感染症, 喫煙, 生活習慣		
教科書・教材・参考書/Materials	なし		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	6回以上の欠席は失格とする。		



アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	なし
学生へのメッセージ/Message for students	代表的な疾患についての知識を身につけ,予防や向き合い方について実践できるようになってください。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	塚元も平山も内科医としての経験に基づき,一般市民の常識レベルで,それぞれの疾患について臨床の知識と生活習慣との関連を交えながら説明する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(木3)	オリエンテーションと種々の思考法を知る(塚元)
第2回(木4)	KJ法を実践し,その結果を発表する(塚元)
第3回(木3)	自律神経の働きとその異常を知る(塚元)
第4回(木4)	自律神経を調節する生活習慣の改善について発表する(塚元)
第5回(木3)	高血圧の原因と病態を知る(塚元)
第6回(木4)	高血圧を予防する生活習慣の改善について発表する(塚元)
第7回(木3)	肥満の原因と病態を知る(平山)
第8回(木4)	肥満について発表する(平山)
第9回(木3)	様々な感染症を知る(平山)
第10回(木4)	感染症について発表する(平山)
第11回(木3)	喫煙と疾病との関連を知る(平山)
第12回(木4)	喫煙と疾病について発表する(平山)
第13回(木3)	がんの病態と治療を知る(塚元)
第14回(木4)	がんを予防する生活習慣の改善について発表する(塚元)
第15回(木3)	総括(塚元)

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587045301	科目番号 / Course code	05870453
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14111_005		
授業科目名 / Course title	a11意思決定の数理 / Mathematical Approach for Decision-Making		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	下本 陽一 / Shimomoto Yoichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	下本 陽一 / Shimomoto Yoichi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	下本 陽一 / Shimomoto Yoichi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	goma nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は、 を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館6F 教員・ゼミ室606		
担当教員TEL/Tel	095-819-2698		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜5校時 これ以外でも良いが電子メールによるアポイントメントを取ることを勧める。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	いくつかの選択肢の中から自分の意志を決定するような状況を、数理科学的手法を用いて解決する際の基本的事項について学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	意思決定に関する数理科学的手法を用いて、問題解決を行えるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認課題 (20点×3回=60点) + 授業への取組みやプレゼンテーションへの参加 (40点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	< 予習 > 講義資料の該当範囲について事前に読んでおくこと(2h) < 復習 > 講義内容および講義資料をもとに復習し、出題される演習問題を解き、レポートにまとめること(2h)		
キーワード/Keywords	誤り符号訂正・順序問題・割当問題・ゲーム理論		
教科書・教材・参考書/Materials	講義に必要な資料を準備する。 資料の入手方法は講義の最初に説明する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高校での数学の知識があれば理解できる講義内容です。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回 第2回	ガイダンス 誤り符号訂正について	F
第3回 第4回	順序問題	F
第5回 第6回	割当問題 誤り符号訂正・順序問題・割当問題に関する演習	A
第7回 第8回	ゲーム理論：ゲーム理論概要 ゼロサムゲーム ゲーム理論：minmax戦略 ゼロサムゲーム(純粋戦略)	F
第9回 第10回	ゲーム理論：minmax戦略 ゼロサムゲーム(混合戦略) ゲーム理論：minmax戦略 ゼロサムゲームに関する演習・プレゼンテーションの準備	A
第11回 第12回	ゲーム理論：ノン・ゼロサムゲーム ノンゼロサムゲーム ゲーム理論：ノン・ゼロサムゲーム ノンゼロサムゲームに関する演習・プレゼンテーションの準備	A
第13回 第14回	各演習の解答のプレゼンテーション	A
第15回	各演習の解答のプレゼンテーション	A

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 木 / Thu 5
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587045701	科目番号 / Course code	05870457
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 14131_005		
授業科目名 / Course title	a11分子設計と合成化学 / Molecular Design and Synthetic Chemistry		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	木村 正成 / Kimura Masanari, 下本 陽一 / Shimomoto Yoichi, 有川 康弘 / Arikawa Yasuhiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	木村 正成 / Kimura Masanari		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	木村 正成 / Kimura Masanari, 有川 康弘 / Arikawa Yasuhiro		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	木村(masanari nagasaki-u.ac.jp), 有川(arikawa nagasaki-u.ac.jp) (メールを送信する際はを@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	木村(工学部1号館3階)、有川(工学部1号館2階)		
担当教員TEL/Tel	木村(819-2677), 有川(819-2673)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(事前にメールでアポイントメントを取った方が望ましい)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	医薬品や機能性材料など、我々の生活に不可欠な有用物質の性質や構造を理解すると共に、分子設計と合成化学について学ぶ。 医薬品・創薬の授業では、今後、長崎大学が設置予定であるBSL-4の研究に関わる内容も包括し、感染症治療薬に関する内容を取り扱う。		
授業到達目標/Course goals	合成化学に関する科学的な思考法と方法論の基礎を学ぶ。 医薬品合成や遷移金属錯体化学について学び、日常生活と科学が如何に密接な関係にあるのかが理解できる。 感染症治療薬の開発について調べるとともに、長崎大学の感染症研究やBSL-4研究開発の現状に関して議論する。長崎県や長崎大学の科学分野における強みや今後発展の可能性のある研究事例を考察することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業参加度、積極的態、レポート等から総合して判断 木村担当と有川担当の平均で評価する。100%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	長崎県や長崎大学で行われている研究について調べ、今後の発展課題を考える(2h)。長崎の地域医療や科学に関連する発展分野を調べたり考察する(2h)。 各班毎に事前学習として調べた内容についてプレゼンテーションを行う(2h)。終了後は、プレゼンテーションを行った感想や、本講義で得られた知識等についてレポートを提出する(2h)。		
キーワード/Keywords	合成化学・創薬・医薬品・金属錯体・機能性材料・長崎大学		

教科書・教材・参考書/Materials	木村担当 参考書 「現代有機化学(上)(下)」(ボルハルトショアー著 化学同人)、 「創薬化学 -有機合成からのアプローチ-」(北泰行著,東京化学同人) 有川担当 参考書 「錯体化学」(佐々木陽一,柘植清志著 裳華房) 「配位化学(第2版)-金属錯体の化学-」(F.パソロ,R.C.ジョンソン著 化学同人)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	高校時代に化学を履修している事が望ましい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948
備考(URL)/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	受講する学生の学部が多岐にわたっているため、理解度も異なってくると思うが、積極的に学習した学生には特に評価を高くする。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目	担当 木村 講義内容の説明、進め方について イントロダクション
2回目	課題内容調査1 テーマ設定及び調査
3回目	講義 有機化学と医薬品開発
4回目	課題内容調査2 発表内容検討及び調査
5回目	感染症について(新型コロナウイルスの感染メカニズム)
6回目	感染症薬剤開発について(新型コロナウイルスの治療薬開発など)
7回目	長崎大学における感染症研究について
8回目	長崎大学BSL-4研究施設について 木村担当 課題提出
9回目	担当 有川 イントロダクション
10回目	錯体化学(錯イオン)について解説
11回目	8族遷移金属について(特に不斉触媒や人工光合成について)
12回目	4族遷移金属について(特にポリマーについて)
13回目	11族遷移金属について(特に分子マシンについて)
14回目	9族遷移金属について(特に有機ELについて)
15回目	6族遷移金属について(特に窒素固定について) 有川担当課題提出

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587018101	科目番号 / Course code	05870181
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12921_005		
授業科目名 / Course title	a12環境と社会運動 / Environment and Social Movements		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 戸田 清 / Toda Kiyoshi, 服部 充 / Hattori Mitsuru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	友澤 悠季 / Tomozawa Yuki, 戸田 清 / Toda Kiyoshi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	友澤 : tomozawa_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	友澤教員室 : 環439		
担当教員TEL / Tel	友澤 : 095-819-2784		
担当教員オフィスアワー / Office hours	個別にメールで連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	公害・環境問題を環境社会学の観点から考察する。政府、企業、専門家との対立や協力の相互作用のなかでの市民運動の役割について、様々な視点から議論できる知識と素養を養う。長崎県と関係のある環境問題についても触れる。		
授業到達目標 / Course goals	公害・環境問題を環境社会学の観点から説明できる(1)。政府、企業、専門家、市民の対立や協力の相互作用および市民運動の役割について説明できる(5および7)。長崎県と関係のある環境問題を整理して問題点と解決策を考えることができる(10)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	平常点50% + レポート50% = 100%のうち、60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	ニュースや新聞を読むときに、授業で学んだ用語を想起して社会分析を試みる。 <予習> 環境問題を取りあげるニュースや新聞記事などに目を通しておくこと(2h) <復習> 講義内容および講義資料をもとに復習すること(2h)		
キーワード / Keywords	環境運動、公共性、水俣病、カネミ油症、原発事故、長崎県		
教科書・教材・参考書 / Materials	参考書は適宜紹介する。プリント配布、映像の視聴を行う。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	授業内容で得た知識を利用し、報道される環境問題を掘り下げて考える習慣をつけてほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (4/8) 3限	総論(1) いま環境はどうなっているか(友澤)
第2回 (4/8) 4限	総論(2) 人間による地球の変形(友澤)
第3回 (4/15) 3限	日本の環境運動(1) 足尾(友澤)
第4回 (4/15) 4限	日本の環境運動(2) 水俣(友澤)
第5回 (4/22) 3限	日本の環境運動(3) 四日市(友澤)
第6回 (4/22) 4限	日本の環境運動(4) 三島・沼津・清水(友澤)
第7回 (5/6) 3限	「する側」と「される側」の論理(友澤) 実施日が5/13でなく5/6ですのでご注意ください
第8回 (5/6) 4限	科学・技術と環境問題(友澤) 実施日が5/13でなく5/6ですのでご注意ください
第9回 (5/20) 3限	当事者・行政・企業・市民社会の役割(友澤)
第10回 (5/20) 4限	「快適な社会」をめぐる模索(友澤)
第11回 (5/27) 3限	個別事例を学ぶ(1) カネミ油症事件(戸田)
第12回 (5/27) 4限	個別事例を学ぶ(2) じん肺・アスベスト問題(戸田)
第13回 (6/3) 3限	個別事例を学ぶ(3) 石木ダム問題(戸田)
第14回 (6/3) 4限	個別事例を学ぶ(4) 原発(戸田)
第15回 (6/10) 3限	「市民」として生きる人びとに学ぶ(友澤)
第16回 (6/10) 4限	まとめと最終課題

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4, 金 / Fri 5
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587043701	科目番号 / Course code	05870437
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12911_005		
授業科目名 / Course title	a12生態系と社会 / Ecosystem and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	服部 充 / Hattori Mitsuru, 遠藤 愛子 / ENDO Aiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	服部 充 / Hattori Mitsuru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	服部 充 / Hattori Mitsuru, 遠藤 愛子 / ENDO Aiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	服部: mhattori nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	服部: 環440 遠藤: 未定		
担当教員TEL/Tel	服部: 095-819-2759 遠藤: 未定		
担当教員オフィスアワー/Office hours	服部: 適宜対応しますのでメールにてアポイントメントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生態系、生態系機能、生態系サービスについて一般論として説明した後、生態系サービスについて事例を交えつつ説明をおこなう。 持続的な社会を維持するための経済的な仕組み、政策評価方法、法や制度、地域の取り組みなどについて紹介し、環境問題に関連する対策について説明する。 プレゼンテーション・レポートなどを通じて理解度の確認をおこなう。		
授業到達目標/Course goals	生態系、生態系機能、生態系サービス、社会的な取り組みなどについて、一般論や典型的な事例などを提示しつつ、基礎的なことを学び、生態系が人間社会にとって欠かせない、環境の重要な要素となっていることが説明できる。また、生態系と社会の関係が現代あるいは長崎県の環境問題とどのように深く関わっているか、基礎的なことが説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各教員による。 主に小テスト、プレゼンテーション、レポートなどで評価をおこなう予定であるが、詳しくは講義内で説明する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 次回の講義内容について文献・ウェブ等で各自で調べて事前知識を得る (2h) 復習: 資料等により講義内容について復習する (2h)		
キーワード/Keywords	生態系サービス、環境問題、経済政策		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて指示をおこなう		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	なし		



<p>アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)</p>	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先  (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948  (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p> <p>In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office.</p> <p>Student Accessibility Office contact information</p>
<p>備考 (URL) /Remarks (URL)</p>	<p>とくになし</p>
<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p>生態系は様々な機能を通じて我々の生活に大きく関わっています。ここで学ぶことは初歩的なことではありますが、環境に配慮した社会が推進されていますのでぜひ社会に出たときに活用できるように学んでください。</p>
<p>実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience</p>	<p>N</p>
<p>実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course</p>	
<p>授業計画詳細 / Course Schedule</p>	
<p>回(日時) / Time(date and time)</p>	<p>授業内容 / Contents</p>
<p>1</p>	<p>イントロダクション、環境問題とは何か (服部)</p>
<p>2</p>	<p>生態系を形作る生物の役割 (1) 生物間相互作用</p>
<p>3</p>	<p>生態系を形作る生物の役割 (2) 生物多様性の創出メカニズム</p>
<p>4</p>	<p>生態系を形作る生物の役割 (3) 生物間相互作用が生態系をつなぐ</p>
<p>5</p>	<p>生態系サービス：人間社会での生物利用</p>
<p>6</p>	<p>生物が引き起こす環境問題：外来種問題、獣害問題</p>
<p>7</p>	<p>生物多様性保全</p>
<p>8</p>	<p>イントロダクション (遠藤)</p>
<p>9</p>	<p>生態系・生物多様性問題と国内外の法制度</p>
<p>10</p>	<p>生態系アプローチと学際・超学際アプローチ</p>
<p>11</p>	<p>生態系・生物多様性問題への国内の取組み (農地、河川、海)</p>
<p>12</p>	<p>生態系・生物多様性問題への国外の取組み (農地、河川、海)</p>
<p>13</p>	<p>生態系・生物多様性問題への企業の取組み</p>
<p>14</p>	<p>SDGsと生態系・生物多様性</p>
<p>15</p>	<p>生態系・生物多様性問題の研究・ギャップ</p>

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587018901	科目番号 / Course code	05870189
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12941_005		
授業科目名 / Course title	a13地域の環境を考える / Community and Environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	深見 聡 / Fukami Satoshi, 濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 黒田 暁 / Satoru Kuroda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	深見 聡 / Fukami Satoshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	深見 聡 / Fukami Satoshi, 黒田 暁 / Satoru Kuroda		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	深見 : fukami nagasaki-u.ac.jp 黒田 : skuroda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	深見 : 環境科学部4階・環438教員室 黒田 : 環境科学部4階・環431教員室		
担当教員TEL/Tel	深見 : 095-819-2720 黒田 : 095-819-2732		
担当教員オフィスアワー/Office hours	深見 : 金曜日2時間目 黒田 : 木曜日2時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	環境問題は、人間や自然の相互関係の複雑化にともない多様なものとなっています。それに対して、地域特性に注目した、持続可能な地域づくりのあり方を希求することで、人間と自然の共生を図ろうという各種取り組みに注目が集まっています。それらのなかに、環境に配慮することの必要性を学ぶ「環境教育」や「環境自治」の充実があり、近年特に重要視されるようになりました。そこで本講義では、「環境教育」と「環境自治」をキーワードに掲げ、私たちの生活に身近な長崎における事例や時事問題として関心の高まっている地域の環境問題をピックアップし、その本質に迫ります。		
授業到達目標/Course goals	1.地域の環境問題を考える上で、「環境教育」や「環境自治」が果たす役割について説明できる。 2.「環境教育」や「環境自治」の分野における地域調査の方法にふれ、その基本を習得する。 3.持続可能な地域づくりのあり方について、長崎県内の課題を整理して問題点とその解決策を発表できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動  / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動  / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動  / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動  / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法  / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 「文教キャンパス探検」と題した小フィールドワーク実施。 F. 教員からの講義のみで構成される  / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レスポンス用紙への記入状況50% (深見担当分) + 講義中に出される小課題への応答50% (黒田担当分) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】各回講義のキーワードをあらかじめ提示するので、キーワードに関する事柄を新聞記事や文献、ウェブ等を通じて前もって調べておくこと(2h)。 【復習】毎回の配布資料を熟読し、取り上げられた具体事例について、自分でもその後を調べる等のフォローアップをおこなうこと(2h)。		

キーワード/Keywords	地域の視点、持続可能な地域づくり、ESD（持続可能な開発のための教育）、観光教育、災害対応、地域再生、地域コミュニティ、環境ガバナンス、環境自治のしくみ、長崎県
教科書・教材・参考書/Materials	教科書：使用しない。 教材：適宜プリント等を配布する。 参考書：深見聡『観光と地域-エコツーリズム・世界遺産観光の現場から』（南方新社、2019年） 西城戸誠・宮内泰介・黒田暁編『震災と地域再生-石巻市北上町に生きる人びと』（法政大学出版局、2016年）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	長崎県内や九州各地を含むローカルな事例に学ぶことを通して、自地域や他地域、ひいては国内外へとグローバルな課題へと関心喚起につながることを目指します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	深見 聡/NPO法人での実務経験/NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会を設立し、代表として観光やまちづくり、環境教育の実務経験を有する教員が、理論と実際の両面から、エコツーリズムの現状等について解説する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(6月17日)	I. オリエンテーション / 環境問題の多様化
第2回(6月17日)	II. 地域の環境と「環境教育」 環境教育の歴史-公害教育から国際理解教育へ-
第3回(6月24日)	環境教育のすすめ(1) 「科学リテラシー」「メディアリテラシー」に基づいた価値判断学習
第4回(6月24日)	環境教育のすすめ(2) 持続可能な開発のための教育(ESD)とは
第5回(7月1日)	環境教育の小フィールドワーク(1) 文教キャンパス探検(前半)
第6回(7月1日)	環境教育の小フィールドワーク(1) 文教キャンパス探検(後半)
第7回(7月8日)	環境教育と観光教育(1) 世界遺産は環境保全に役立っているのか?
第8回(7月8日)	環境教育と観光教育(2) 世界遺産の現場から-屋久島、長崎の事例比較-
第9回(7月15日)	III. 地域の環境と「環境自治」 災害と地域復興の現場(1) 震災による地域の「被害」とは
第10回(7月15日)	災害と地域復興の現場(2) 災害社会を考える
第11回(7月22日)	環境と地域のコミュニティ(1) 「地域」というまとまり
第12回(7月22日)	環境と地域のコミュニティ(2) 自治はつらいよ?
第13回(7月29日)	環境ガバナンスのしくみ(1) 環境自治の実態と課題
第14回(7月29日)	環境ガバナンスのしくみ(2) 持続性のゆくえ
第15回(8月5日)	環境と地域の関係のあり方とは
第16回(8月5日)	まとめ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220587047301	科目番号 / Course code	05870473
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12961_005		
授業科目名 / Course title	a13資源管理論 / Introduction to Resource Management		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 畑 奨 / Hata Syo, 重富 陽介 / Shigetomi Yosuke		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	濱崎 宏則 / Hironori Hamasaki, 畑 奨 / Hata Syo, 重富 陽介 / Shigetomi Yosuke		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-hamasaki nagasaki-u.ac.jp (濱崎) y-shigetomi nagasaki-u.ac.jp (重富) (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環449 (濱崎) 環452 (重富)		
担当教員TEL/Tel	内線 2742 (濱崎) 内線 2785 (重富)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜16:00~17:00 (濱崎) 事前にアポイントをとってもらえれば、適宜調整します (重富)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	水資源、希少金属資源 (レアメタル)、エネルギー資源、資源の循環利用など、さまざまな資源がもつ特質を理解し、資源配分を決める経済的、政治的しくみと管理について、事例を挙げながら概説する。		
授業到達目標/Course goals	さまざまな資源が持つ特質を理解し、資源配分を決める経済的、政治的しくみが理解できる。また、資源管理の主体となる組織の役割や異なる利害の調整の方法が理解できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	濱崎・重富ともに、レスポンスシート (20%)、プレゼンやディスカッションなどへの参加意欲・貢献度 (20%)、グループ発表 (60%) を総合的に評価する		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 前回授業資料を読んで内容のおさらいをして (1h) 復習: 授業内容を反芻しつつ、グループワークでの充実した議論ができるよう文献・情報の収集を行う (3h)		
キーワード/Keywords	グローバル社会, 資源管理, 利害関係, 持続可能な開発, エネルギー資源, 循環型社会		
教科書・教材・参考書/Materials	特に教科書は指定せず, 教員作成の資料に基づいて授業を進める。参考文献は毎回の授業で紹介する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	現在と将来の資源を有効に利用するためのしくみを学びましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション（授業のねらい，達成目標，成績評価，グループイングなど）
第2回	資源管理とは：経済発展（資源利用）と環境保全（資源保護）のせめぎあい グループワーク
第3回	水資源の管理を事例とした資源の利用と保全：政治的観点から
第4回	プラスチックの循環利用 グループワーク
第5回	資源管理の難しさを体感する貿易ゲーム
第6回	貿易ゲームの振り返り，グループワーク
第7回	循環型社会
第8回	グループワーク
第9回	エネルギー問題
第10回	グループワーク
第11回	希少金属資源
第12回	グループワーク 最終グループ発表準備
第13回	グループ発表
第14回	グループ発表
第15回	グループ発表の講評 授業総括 資源を持続可能な方法で利用するためには

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2022/04/08 ~ 2022/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593001701	科目番号 / Course code	05930017
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	a14研究ベース学習 : アカデミックスキルの習得 / Research Based Learning : Acquisition of Academic Skills		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辻 高明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	辻 高明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	辻 高明		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tatsuji_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパスA&TLab爽創館202		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで予約して下さい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>大学という学術機関は新たな知識を創造する場である。大学において、知識創造の典型的な営みは論文の生産である。本テーマで取り上げる「研究ベース学習」は、プロジェクトベース学習(PBL)を念頭に置き、学部学生が研究という知識創造活動を体験することを目的に設計したアクティブラーニングである。それは、科学的方法をプロジェクトとして体験することにより、学部学生を研究の世界に誘い、研究文化の学習観や技法を体得させるための実践である。</p> <p>研究ベース学習として本科目では、学術研究において必要不可欠な技能であるアカデミックスキルの実践的な獲得を図る。具体的には、「学術文献の読み方」「アイデアの整理と拡張法」「伝わる文章の書き方」「図表の見方・作り方」「学術文献の検索法」「問いの立て方」「引用の方法」「学術論文の書き方」「プレゼンの方法」などのアカデミックスキルをグループワークを通して習得する。特に、本科目では、問いの設定、論文の生産過程、論文の査読、研究成果の発表といった科学的方法のプロセスを念頭に置いた実践的なアカデミックスキルの獲得を目指す。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学分野・領域を超えて活用できるアカデミックスキルを獲得する。</li> <li>・他者との協働により自身のアカデミックスキルを高めることができる。</li> <li>・科学的方法のプロセスを説明することができる。</li> <li>・大学で主体的に学術研究を遂行するための学習観を身に付ける。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課題の達成度 (30%)</li> <li>・授業への取り組み、毎回のミニレポート (30%)</li> <li>・最終課題 (40%)</li> </ul> を点数換算する。60点以上で合格。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 予め提示する資料に基づき、ワークを行う(2h)。 事後学習: 授業での学びをもとに課題に取り組む(2h)。		

キーワード/Keywords	研究ベース学習 アカデミックスキル 研究の世界 学術研究 グループワーク
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、資料を配付します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	国内の大学で、研究ベース学習に似た実践は、京都大学では「学術研究事始め」、東京大学では「科学の技法」などとして、すでに行われています。本テーマでは、長崎大学の学生さんと共に、長崎大学ならではの研究ベース学習を創出し、皆さん方が学術研究の扉を開けることを支援します。 研究ベース学習の本科目は、担当教員が同志社大学で実践してきた「アカデミックスキルセミナー」をブラッシュアップして実施します。2022年度から開講する新科目です。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	研究ベース学習とは
第2回	科学的方法のプロセスとは
第3回	アカデミックスキルの習得 : 学術文献の読み方
第4回	アカデミックスキルの習得 : アイデアの整理と拡張法
第5回	アカデミックスキルの習得 : 問いの立て方
第6回	アカデミックスキルの習得 : 学術文献の検索の方法
第7回	アカデミックスキルの習得 : 学術論文の構成法
第8回	アカデミックスキルの習得 : 学術論文の書き方
第9回	アカデミックスキルの習得 : 伝える文章の書き方
第10回	アカデミックスキルの習得 : 図表の見方・作り方と引用の方法
第11回	アカデミックスキルの習得 : 定性的調査と定量的調査
第12回	アカデミックスキルの習得 : 研究成果をスライドにまとめる方法
第13回	アカデミックスキルの習得 : 研究発表の方法
第14回	アカデミックスキルの習得 : ピアレビューによる査読の方法
第15回	アカデミックスキルの習得 : 査読による論文修正の方法
第16回	科学的方法におけるアカデミックスキルの整理とまとめ

学期 / Semester	2022年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2022/06/13 ~ 2022/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20220593001901	科目番号 / Course code	05930019
科目ナンバリングコード / Numbering code			
授業科目名 / Course title	a14研究ベース学習 : 科学的方法の体験 / Research Based Learning : Experience of Scientific Method		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	辻 高明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	辻 高明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	辻 高明		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教養モジュール		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	多・教・経・薬・水		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tatsuji_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教キャンパスA&TLab爽創館202		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで予約して下さい		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>大学という学術機関は新たな知識を創造する場である。大学において、知識創造の典型的な営みは論文の生産である。本テーマで取り上げる「研究ベース学習」は、プロジェクトベース学習(PBL)を念頭に置き、学部学生が研究という知識創造活動を体験することを目的に設計したアクティブラーニングである。それは、科学的方法をプロジェクトとして体験することにより、学部学生を研究の世界に誘い、研究文化の学習観や技法を体得させるための実践である。</p> <p>研究ベース学習として本科目では、論文の生産プロセスと論文の修正及び成果の発表を体験する。まず、研究ベース学習で獲得したアカデミックスキルだけでなく、新たにデータの収集・分析の方法としてフィールド情報学の研究方法を習得する。そして、「問いの設定、対象の選定、データ収集・分析、成果のまとめ」という論文の生産プロセスを、フィールド情報学の研究方法やアカデミックスキルの技法を駆使して遂行する。さらに、学生同士での論文査読や研究成果の発表も経験し、科学的方法の体得する。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールド情報学の研究方法を習得し活用できる。</li> <li>・科学的な技法や作法に則った学術論文を生産することができる。</li> <li>・他者からの査読や発表へのフィードバックを論文修正に反映させることができる。</li> <li>・大学で継続的に学術研究に取り組み、自らを高め変革していくための学習観を身に付ける。</li> </ul>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課題の達成度 (30%)</li> <li>・授業への取り組み、毎回のミニレポート (30%)</li> <li>・最終課題 (40%)</li> </ul> を点数換算する。60点以上で合格。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 予め提示する課題に基づき、ワークを行う(2h)。 事後学習: 授業内容に基づいた課題に取り組む(2h)。		



キーワード/Keywords	研究ベース学習 科学的方法 フィールド情報学 知識創造 プロジェクト型学習
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使用せず、資料を配付します。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先  (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948  (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	<p>国内の大学で、研究ベース学習に似た実践は、京都大学では「学術研究事始め」、東京大学では「科学の技法」などとして、すでに行われています。本テーマでは、長崎大学の学生さんと共に、長崎大学ならではの研究ベース学習を創出し、皆さん方が学術研究の扉を開けることを支援します。</p> <p>研究ベース学習の本科目は、担当教員が京都大学と秋田大学で実践してきた科目「フィールド情報学入門」に創意工夫を施し実施します。秋田大学では「学生からの評価が高い授業」に認定されました。長崎大学では2022年度から開講する新科目です。</p>
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	フィールド情報学の研究方法の習得
第2回	フィールド情報学の研究方法の習得
第3回	フィールド情報学の研究方法の習得
第4回	研究計画を立てる
第5回	フィールド情報学の研究方法を用いたデータ分析と調査結果の整理
第6回	フィールド情報学の研究方法を用いたデータ分析と調査結果の整理
第7回	フィールド情報学の研究方法を用いたデータ分析と調査結果の整理
第8回	論文の作成：研究の背景と目的・研究方法
第9回	論文の作成：結果・考察をまとめる
第10回	論文の作成：まとめと今後の課題
第11回	論文の作成：全体を整理する
第12回	ピアレビューによる論文の査読
第13回	査読の結果を踏まえて論文を修正する
第14回	研究成果をスライドにまとめる
第15回	研究発表：成果をプレゼンしコメントをもらう
第16回	研究発表：成果をプレゼンしコメントをもらう